

SSRI

ちょっと一言

Give me a break !

F-35B を搭載しただけでは空母になれない

藤岡智和

防衛計画大綱の改定に当たって、いずも型護衛艦を改造して F-35B を搭載して空母化するとのニュースが日夜マスコミを賑わせているが、果たして F-35B 搭載だけで空母になるのでしょうか。

空母は戦闘機を搭載するので、当然敵航空機の来襲を努めて遠方でつかまなければならないが、地球が丸いため低空を飛行する敵機を空母が搭載するレーダが探知できる距離は極めて限られる。

もし目標が高度 400～500m で進入してくれば地球彎曲の影響だけで発見できるのはせいぜい 100km、高度 100m の超低空で進入すれば 50～60km まで接近しなければ発見できなくなる。仮に敵機が音速であれば 100km を 300 秒、即ち 5 分で飛んでくることになる、敵を発見してから F-35B が離艦しようとしてもとても間に合わない。

このため空母にはレーダを搭載した早期警戒機が必須で、各国ともレーダ搭載ヘリであれ、早期警戒機を必ず保有している。中国海軍も空母遼寧に早期警戒用のレーダ搭載ヘリを搭載している。

我が国には艦載の早期警戒機の計画はなく、もしこの状態で F-35B 搭載護衛艦を運用しようとするれば、そのうちの少なくとも 1 機を常に哨戒用として滞空させておくか、航空自衛隊の早期警戒機が援護してくれる範囲内だけで活動せざるを得ないことになる。

(2018 年 11 月 29 日)